

看護記録研修



2西 瀬崎 忍

今回の講演では実際に電子カルテを導入している島田市民病院の副看護部長の話を聞きました。電子カルテとは、からはじまり導入までの過程、どの様にして活用しているか、看護記録の方法など実際にやっていることを聞くことができました。

電子カルテでいいなと思ったことはいろいろな情報を画面を開けば全てわかるということです。医師記録も入力されており、しかも日本語での入力が原則になっている様で私達にも理解しやすいと感じました。

その他にいいと思ったことは、看護診断、NIC(看護介入分類)、NOC(看護成果分類)を使用しているということです。NIC、

NOCという言葉は初めて聞きました。これを使うとケアも統一され誰が行ってもわかりやすく、又、評価していくうえでも、5段階評価で内容も細かく個々の差がなく評価できると思いました。もう少しNIC、NOCについて知りた

いと思います。そして、患者様に統一、継続した看護ができればいいと感じました。

近い将来、電子カルテが導入される時がくるかもしれません。期待する部分も大きいけど大変そうだなという思いもあります。



H15.9.13

パートナーズ研修

看護業務として必要な

記録に取り組む



小児科外来 岩崎由起子

今回、日々の看護記録について、各科スタッフの方との研修に一年間参加させて頂きました。6月の時点でのグループワーク(G・W)では、各科の記録の取り組み等を発表しあい、問題点や気づきなどの意見を出しあいました。11月のG・Wでは、前回からの問題点に基づき、変更した記録内容、及び現状を報告しあいました。

G・Wでは、各科の「特色」に応じて、記録している様子がわかり、又問題点があれば、各科で対処し変更して、継続記録に取り組んでいる様子がありました。

日々、処置などの看護記録は業務の流れの中で記入していましたが、フォーカスやデータをあげ、発表された看護記録は、時間の制約もあり、なかなか難しいものがありました。今回一年間の研修を通して、看護記録に取り組むことにより、患者理解、家族理解へ繋がり、よりよい看護、

援助にも繋がっていくと感じました。又、他科の取り組みについても、自科で生かせそうな部分もあり、参考になりました。有意義な研修であったと思います。記録するという意識づけができた点も収穫ではないでしょうか。

